

東京地方壮年連合通信 vol.75

TOKYO SOHNEN RENGOH TSUSHIN 2017年9月20日

「エマオの途上で起こったこと」

常磐台バプテスト教会青少年担当牧師 山下真実(やました まこと)

昨年11月に行われた東京地方連合の「宣教会議」において、ルカ福音書24章の「エマオの途上」からメッセージをさせていただきました。「エマオの途上」でこそ、私たちはこれからの教会について、宣教について、忌憚なく考え、話すことができるのではないかということです。

「エマオの途上」にいた二人の弟子たちは、師であるイエス・キリストの死に直面して、彼らがもともといた「弟子たち」というコミュニティを出て行きました。その道で、彼らはイエス・キリストについて「話し合い論じ合って」(15節)いたのです。同じ信仰を持つ同じ「弟子たち」だと思っていた彼らが、互いの違いに気づく瞬間がここにあります。そしてそこに、イエス・キリストは伴い歩まれたのです。

私自身、普段関わっている青少年たちと、教会のことをざっくばらんに、かつ前向きに話すことができる「場」というのは、彼らが普段いる「教会」というコミュニティの中ではなく、そこから一歩外へ出た、それこそ道端のような「場」です(私の中では、そこもまたキリストの教会の内側という理解ですが)。そこでは、「教会」では口にできないような刺激的な意見や、教会の常識(そんなものがあるということにすら、私たちは無自覚ですが)をひっくり返すような、大胆な考え方が飛び出すこともあります。

地方連合というのは、まさに「エマオの途上」のように、私たちが時に私の「教会」というコミュニティから一歩外に出て、教会について、信仰について、イエス・キリストについて、互いのもつ多様性を分かち合い、話し合い論じ合うことのできる「場」であると思っています。その貴い交わりと協力が、これからの時代においては世代やあらゆる違いを超えて、ますます豊かにされていきますように。そこに、主イエス・キリストが伴い歩んでくださることを信じて、感謝いたします。

「第52回全国壮年大会 in 天城 2017に参加して」

関西地方連合 堺キリスト教会 田矢廣司

2011年以来の天城での大会、初日の午後は旧天城トンネルへの散策、あるいは浄蓮の滝の滝での溪流釣りで始まり、最初の公式行事が夕食という日程で、2泊3日の大会が始まった。交わり、語り合いを大切にしたいスケジュールを設定して下さった実行委員会の方にまずもってお礼を言いたい。

大会ではそのメッセージが重要であるが、翌日の加藤誠師の主題講演では多くの問いかけがあり、大会を通してその課題が継続して皆で語りあう事となった。2時間の講演が長さを感じることなく多くの課題を私に投げかけてくれたことを喜びたいと思う。

師は大会の「キリストにしたがう わたしはかわる」テーマがあたかも青年あるいは少年少女大会のようで、当初戸惑われたとの事であったが、私は以下の二つの言葉が強く残った。

一つ目は[「福音が」「信仰」が出来事になるという問いかけ]である。極めて厳しい問いかけであるが、どこかで信仰が概念的・観念的になってしまい「出来事」になっていないのではないか。「わたしはかわる」とは私の信仰が具体的な出来事になることであると理解した。キリスト者として長く問われ続けている課題が、あらためて突きつけられた思いがした。「出来事になる」という事さえ観念的に理解しようとしてしまう、わたしの弱さに愕然とする思いである。

もうひとつは「大井教会は“バプテスト教会”になりたい」と思い続けているという言葉である。私たちの今立っている教会が真の教会であり、バプテスト教会として完成しているとでも思ったら、極めて危険であり、実に不信仰なことである。良しあしを判断する物差しを、私たちは持たない。出来るのは、「わたしたちの教会を教会として下さい。バプテスト教会として下さい」と常に祈り、問い続けることである。

主題講演を受けての分かち合いの時も例年になくゆっくりと語り合う事が出来、講演で示された多くの課題を共有できたことは感謝であった。

毎年2泊での大会というのは難しいが、語り合う時間を充分にとる工夫を今後担当する地方連合で工夫出来ればと思う！

「第52回全国壮年大会出席の感想」

恵泉バプテスト教会 竹下達也

2004年に3年勤務したロンドンから帰国し、恵泉教会に加えていただきました竹下達也です。バプテスマをロンドン勤務時代に授かったので新参加者です。

現在、教会では執事の他に伝道部、兄弟会、対外的には東京地方連合の書記、壮年連合の南ブロック委員など、忙しくさせていただいております。

天城山荘で開催された第52回全国壮年大会に出席しましたが、2泊3日落ち着いて良い交わりを持つことができました。大会のテーマ「キリストにしたがう わたしは かわる」は、主題講演者の加藤誠牧師がこぼしていたように、少年少女大会のようでしたが、無限の広がりを持った極めて根源的なものであることが良く理解できました。しっかり内なる自分と向き合い、撒かれ続けられるみ言葉の種を、根無し草にせず、しっかり咀嚼していきたいと思われました。

東京地方壮年連合は、4つのブロック（東西南北）をベースに壮年の交流を図り、連携の強化を目指し活動しています。それぞれに多忙な教会ですが、教会に閉じ籠るのではなく、情報を交換し刺激しあって切磋琢磨の関係を構築したいと願っています。それによってこそ壮年が教会において良きリーダーとして立つことが適うように思います。

ロンドン時代、欧州に散らされた日本人クリスチャンが年に一度各地に集い修養会を開催し、家族で参加し親交を深め励まし合いつつ信仰を確認してきました。そんなわけで日本においても、家族で参加のできる大会があればと思うときがあります。年齢や性別を超えた拮がりのある連携・連帯が求められる時期にあるように感じます。収容施設など色々課題はありますが、開かれた繋がりを求めることが、信仰の継承や開かれた教会形成に良い影響を与えると信じます。

今年、還暦を迎え、勤務は続けていますがプレッシャーから解放されました。色々なことにチャレンジするチャンスだと思っています。撒かれた恵みに「われ何をもちてこれに応えん」。これからもよろしくお願い致します。

◇ 2017年度東京地方壮年連合定期総会のご案内◇

日 時：2017年11月23日（木・祝） 10:00～11:30

会 場：恵泉バプテスト教会

議 案：①2016年度活動報告、決算報告

②2017年度活動説明、会計報告(決算見込み)

③2018年度活動計画、予算

④会長補欠選挙

※近々、総会案内を各教会に郵送します。多くの参加を期待しています。

公 示

東京地方壮年連合会長補欠選挙

この度、山田 誠一 現会長が全国壮年連合会長に選出された為、東京地方壮年連合会長の任期1年を残し辞任します。2017年度総会において

(2017年11月23日(木・祝日)、場所・恵泉バプテスト教会にて)、以下の補欠選挙を行います。役員会は、選挙の前提である立候補を重んじて、東京地方壮年連合の鈴木武史兄(花野井)に選挙管理委員を委嘱しました。

以下により、立候補を受付けます。

1. 立候補対象 : 連合規約第7条による。
任期は2018年度(4月から2019年3月)の1年 会長 : 1名

2. 立候補締切 : 2017年11月11日必着(郵送、メール何れでも可)

3. 立候補届出先 :
郵送 : 〒270-1154 我孫子市白山 1-28-12
メールアドレス : tk-suzuki@jcom.home.ne.jp

鈴木 武史(東京壮年連合 選挙管理委員)

4. 立候補届出様式 : 特にありません。 以 上

— 壮年の皆さんからの立候補をお待ちしています —

上記の公示を元にぜひ立候補してください。東京地方壮年連合は、会員相互の啓発を計り、各教会を知り、交流親睦を深めるとともに伝道活動を積極的に協力し合うことを目的としています。私たちは、役員間で各自の意見を出し合って、良いものを作るために 努力してきました。喜びを共に分かち合いたいと思います。

* 恒例の研修会開催のお知らせ *

テーマ : 『礼拝の持ち方~バプテスト教会として』
講師 : 朴 思郁 (パク サウク) 宣教研究所所長
日時 : 2018年2月17日(土) 13:30~16:00
場所 : 大久保教会

発行人 : 東京地方壮年連合会長 山田誠一
編集人 : 佐藤洋二
連絡先 : 千葉県柏市東中新宿4-7-5-104 〒277-0061
tel. 090-9834-9464 e-mail. qp4316_1107yahoo.co.jp